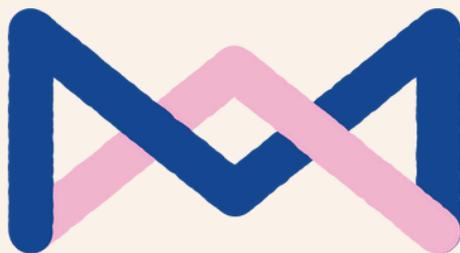


まちだづくり 応援基金

まちだ
づくり
応援
基金



MACHIDA CHALLENGE FUND



まちだづくり応援基金

町田市内で活動する方を応援したいという思いを持った方からのご寄付により、「まちだづくり応援基金」を設立いたしました。本基金により町田市のまちをよくする志をもった個人、団体の「新しいチャレンジ」にあたる取り組みに対して助成します。

基金の目的

<志を応援しあうまちにする>

町田で活動する方、町田で暮らす方、町田に想いのある方が、町田市内でまちづくりに取り組む個人、団体のチャレンジを応援し、志を応援しあえるまちにする。

<小さなチャレンジを後押しする>

小さくても新しいユニークなチャレンジをする人を後押しする。新しいチャレンジだからこそその失敗も歓迎し、失敗からも学び合えるまちにする。



2024年度助成対象一覧

団体名／個人名	活動題目
NPO法人アートネット まちだ	まちだのパブリックアート（街中で見かける彫刻・オブジェ）めぐり
アマタメ企画	現役の俳優とスタッフが、演劇初心者と共に自分だけのストーリーを舞台化するオムニバス演劇イベント、アマチュアシアター
近藤 弘晃	「町田で部活 大人も楽しむ部活動」サイト構築、広報の実施
色彩心理グリーンハートラボ	色彩表現によって心を元気にする活動
鈴木 めぐみ	介護に携わっている人がモデルとして出演するファッションショー
藤の台カルチャーボックス	身近な地域で生の音楽・話芸・芸能に触れる機会を提供する
まちいろドロップス	2024年度まちカフェ！において、2名の外部講師による対話ワークショップの実施
like minds	完全即興音楽を通じて聴く力と発信力を育てる

次ページから各活動について、活動への想いや今後の意気込みを語っていただいたインタビューを掲載します。インタビューアは、今夏さがまちインターンシップ（運営：さがまちコンソーシアム）のプログラム内で、サポートオフィスでインターンシップを行った大学生の皆さんです。

Q1. アートネットまちだが結成されたきっかけは何ですか？

A1. アート好きな市民が、市民企画講座を受講したことをきっかけに集まり、その後、現在の団体が結成されました。主にパブリックアートツアーや里山散策、展示企画などの活動をしています。アートに触れることで豊かな生活を送れるようにしたいと考えています。

Q2. これからチャレンジしたいことはなんですか？

A2. まちだづくり応援基金で予定しているパブリックアートツアーはもちろん、ワークショップなどを開催して「作る楽しみ」を感じていただく企画を増やしたいと思っています。また、町田で和紙づくりができないかと現在模索中です。アートネットの活動には、「アートをどう知ってもらうか」ということがベースにあります。アート好きな人だけでなく、そうでない人にも広げていくために試行錯誤しています。

Q3. 活動していく上での最終目標は何ですか？

A3. いつでもアートを観ること、触れることができ、身近に感じてもらう場を作りたいです。最近は、他団体との連携も増えてきました。今後も団体メンバーの興味や関心を活かした多様な活動を展開していきたいです。

NPO法人アートネットまちだでは、まちだづくり応援基金の助成金を活用してパブリックアートツアーを開催します。最新情報についてはアートネットまちだのSNS等をご覧ください。



▲アートネットまちだ普段の活動の様子

アマタメ企画

現役の俳優とスタッフが、演劇初心者と共に自分だけのストーリーを舞台化するオムニバス演劇イベント、アマチュアシアター

Q1. 活動をはじめた始めたきっかけは何ですか？

A1. 素人の人たちがお芝居を通して「自分の人生の主役は、自分」と強く意識をしてもらい、自分のことを大切に生きていくきっかけ作りをしたいと思ったからです。姉である私は、劇団四季の裏方として働いています。妹は、俳優の仲代達也さん主宰の無名塾という劇団で芝居を基礎から学び、現在も映像や舞台で幅広く活動をしています。

Q2. この活動で大切にしていることは何ですか？

A2. 「参加者が“自分の人生の主役”として楽しむこと」、「無理をせず、長続きするように協力すること」、「参加者同士の交流や仲間づくりの居場所としての役割」の3つを大事にしています。

Q3. これからチャレンジしたいことは何ですか？

A3. アマチュアだけで舞台を作ることが目標です。具体的には、和光大学ポブリホール鶴川等の大規模なホールで「歌・ダンス・ミュージカル・芝居」をミックスしたエンタメ要素満載のオリジナル作品を満員のお客様の前で披露したいという夢があります。

アマタメ企画では、まちづくり応援基金を活用し、参加者が練習6回、本番1回=全7回で行う演劇公演ワークショップ「アマチュアシアター」を行います。本番は、10月20日（日）まちの縁側一丁目加々美さんち（東京都町田市玉川学園1丁目20-13）にてお客さんを入れての公演です。

『古民家』が『舞台』になる

アマチュアシアター第1期
チーム サマサマ 公演

公演のみ 500円
公演+プチ表現体験 1,000円

1チケット購入はこちら



▲「アマチュアシアター」のチラシと10月20日に実施した公演参加者による集合写真

Q1. この活動を始めたきっかけを教えてください。

A1. 昨年から少し時間が空いたので地域活動に参加するようになりました。地域のイベントやセミナーに参加して、皆さんの活動の話を聞き、面白い活動がいっぱいあると感じました。しかし同時に活動の魅力が上手く伝わっていないことがもったいないと感じ、地域活動をより多くの人に知っていただきたいと思いこのサイトを始めました。

Q2. この活動で嬉しかったことはなんですか？

A2. このサイトについて皆さんに話すと「いいね」「私も載せたい！」など期待の言葉をかけてくださる方が多いのが嬉しいです。

Q3. この活動の最終目標はなんですか？

A3. たくさんの地域団体の活動を載せて、地域の人が面白い活動を簡単に探して参加できるようになればいいなと思います。活動を通して繋がりを増やすことで、普段の生活の中で、顔見知りや挨拶が増えたらいいなと思っています。

Q4. 助成金の使い道について教えてください。

A4. サイトを作る時はデザインも自分でやることはありますが、今回は助成金を活用してデザイナーさんの力を借りてブラッシュアップしたいと思います。また、自分でXやFacebookでの発信は行う予定ですが、いろんな年代の方にこのサイトのことを伝えたいので、チラシ作成にも助成金を使おうと思います。



▲現時点でのWEBサイトのイメージ

色彩心理グリーンハートラボ

色彩表現によって心を元気にする活動

Q1. この活動を始めたきっかけについて教えてください。

A1. 代表の牛尾はもともと青山にある色彩学校の講師をしていたのですが、夫の病気がわかり辞めることになりました。その後、自分が住んでいる町田でも色彩心理について発信していけたらと思い、2012年3月に「緑山色彩心理研究室グリーンハート」を立ち上げ、カラーセラピー初級・中級講座やアートセラピーアトリエを始めました。同時に受講された方々とネットワークを作り、ステップアップのための学びや定例会議を行い、活動団体としての形を徐々に作ってきました。ネットワークは2018年に色彩心理グリーンハートラボと改称して、現在はまちカフェ！グループワークショップ、体験セラピーや色彩セミナー、講演などの活動を行っています。

Q2. 色彩心理グリーンハートラボの活動に参加することを通して得られるものはなんですか？

A3. 色とは奥深いものです。色彩について知識として学ぶだけでなく、楽しく新しい視点を得られたり、自身の心理に結びつくものが見えたりと、さまざまな発見があります。自分の仕事や生活に役立つことも多いと思います。「自分が変われば選ぶ色も変わるし、選ぶ色が変われば自分が変わる」と考えています。

Q3. 助成金の使い道について教えてください。

A4. 一昨年10周年を迎えました。今年は、①メンバー一人ひとりが自ら講師になり、自分のつながりを活かして外部に出張してワークショップを行う、②他団体とのコラボレーションを実施する、ということの2点に力を入れています。助成金もそれらのチャレンジに活用させていただく予定です。

色彩心理グリーンハートラボでは、下記の通り助成金を活用したイベントが開催されます。どなたでも参加可能ですので、ぜひお立ち寄りください。

「ぬり絵のワークショップ 色彩セラピー体験」

日時：11月30日（土）①10時15分 ②12時 ③14時
（所要時間は90分）

場所：町田市役所3階 3-1会議室

参加費：700円

メール：greenheart1949@gmail.com

まちカフェ！
2024 色を使って元気になる
ぬり絵のワークショップ
色彩セラピー体験

11/30 木曜 午前9時開場
①10時15分 ②12時 ③14時
《所要時間90分》

■参加費：700円
■定 場：町田市役所3階3-1

色は心のメッセージ
《参加者の声》

（申込み/お問合せ）
緑山色彩心理研究ラボ 色彩心理グリーンハートラボ
代表 牛尾 美穂 町田市中野町1-1-1
TEL：044-989-5816
MAIL：greenheart1949@gmail.com

鈴木めぐみさん

介護に携わっている人がモデルとして出演するファッションショー

Q1. なぜこの活動を始めようと思ったのですか？

A1. 1つ目のきっかけは、私自身の両親の介護です。心が折れそうになる時もありましたが、あるとき介護施設を訪れた際に入居者の方が、「あなた、とても素敵ね」と声をかけてくれました。そのとき、おしゃれは単なる自己満足ではなく、人を元気づけることもあるのだと気づきました。2つ目は、数年前ミセスコンテストに出て初めてスポットライトや拍手を浴びる経験をしたことです。それまでは介護を1人で頑張ってきたと思っていたのですが、こんなに応援してくれる人がいるんだということに気づきました。そこからもともとのおしゃれ好きが高じて、介護をしている人、ケアをしている人向けのファッションショーをしようと考えました。

Q2. やりがいは何でしょうか？

A2. ファッションショーに出るのが初めての参加者の皆さんにウォーキングなどの指導はしますが、それでもどこか遠慮がちな雰囲気や恥ずかしさがなかなか抜けません。それでは来ていただいた観客の皆さんに戸惑いを抱かせてしまいますので、出演者には「ひたすら明るく」と伝えています。すると、不思議と本番では皆さん笑顔になります。ファッションショーへの参加をきっかけに、他にも新しいことにチャレンジするようになる方が多いのが嬉しいです。終わったあとの「本当に楽しかったです！」という声も力になります。

Q3. 新しく取り入れたいこと、チャレンジしたいことはありますか？

A3. 私は、今まで目が外に向いてばかりいて、住んでいる町田市のことをあまり知らずにいました。今回町田についていろいろ調べている内に、「まちだづくり応援基金」を知りました。これから自分の身近である町田の人たちの一助になればいいなと思っています。

鈴木めぐみさんは、まちだづくり応援基金を活用して11月30日開催の町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」内でケアラーのファッションショーを開催されます。



ケアする人こそ最高のモデル
ケアラーのファッションショー

介護者
応援券
5,000円

開催日時
11/30(土)
10:30～

開催場所
町田市役所
1階エタージュ

参加費
5,000円

「まちカフェ！」

藤の台カルチャーボックス

身近な地域で生の音楽・話芸・芸能に触れる機会を提供する

Q1. この活動を始めたきっかけについて教えてください。

A1. 長年高齢者の集うサロンや高齢者の見守り活動を行う中で、「高齢になって外出が難しくなった」、「地域で楽しめることがあれば」という声を受けて藤の台地域で文化活動ができればと思ったのがきっかけです。私はもともと音楽鑑賞や観劇、歌舞伎など、大きいステージから小さいステージまで、観に行ったり聴いたりすることが好きで、年に20回ほど行っています。この活動は自分の「好き」をベースにして始めた活動です。さまざまな舞台を見た経験が今この活動に役に立っていると思います。また、この活動を始めてから私自身チラシ作成や資金計画を立てることで脳が活性化し、元気で健康に過ごせていると感じています。

Q2. 活動で苦労したことを教えてください。

A2. 活動を始めようと思った頃はどういう形でやっていけばよいか、特に資金面と集客面に困っていました。例えば活動にプロの方をお呼びするためにはお金が必要です。そこで、資金集めと活動の周知をかねて「応援会員になってください」というチラシを配布しました。応援会員になっていただくことで資金だけでなく、人のつながりが作れてよかったと思います。

Q3. 今後チャレンジしたいことはありますか？

A3. チャレンジしたいことはたくさんあります。まず、「藤の台音楽祭」というのを今後やりたいなと思っています。商店街のいろんなスペースを使って一定期間ミニステージを用意したり、商店街の方ともつながりを作りたいと思います。他にも企画展や写真展をやってみたいと考えていますし、記録映画の上映会もやってみたいです。どこまで実現できか分からないですが少しずつ行動して実現させたいと考えています。

藤の台カルチャーボックスでは、下記の通り助成金を活用したイベントが開催されます。どなたでも参加可能ですので、ぜひお立ち寄りください。

「こころ躍る！ミュージカルソングの世界！」

日時：12月1日（日）14：00～15：15

場所：開進幼稚園ホール（藤の台団地）

藤の台カルチャーボックス第1回本公演

**こころ躍る！
ミュージカルソングの世界**

新藤原団地のミュージカル愛好3名による音楽の心を開きまわす！
60年代のミュージカル映画がテーマの音楽会まで……
大人も子どもと一緒に、さあ！心躍るミュージカルソングの世界へ



出演者：松尾恵理 宮宮健一郎 松尾恵理

2024年12月1日（日）
14時開演（13時30分開場）
会場/開進幼稚園ホール

参加費：1200円（前売り・予約1000円）※観劇者の小学生以下無料
出演 Babu(竹田麗郎) 宮宮健一郎 松尾恵理
主催：藤の台カルチャーボックス
実行協力：開進幼稚園 藤の台カルチャーボックス

問合せ：090-4022-6371(昼) 090-9301-0130(夜) 070-5568-3311(夜線)
facebook.com/otoboku

まちいろドロップス

まちカフェ！において、2名の外部講師による対話ワークショップの実施

Q1.活動内容について詳しく教えてください。

A1.まちいろドロップスの企画としては、哲学対話で自己を深めていく場をつくること、もう一つは子育て支援の一環としてお母さんたちに対話の場を提供することの2点を力を入れています。

人生や日常生活の中で当たり前だと思っていることを改めて問い直してみようとするのが哲学対話です。1人で抱え込んで自分の中で完結してしまうのではなく、言葉で相手と対話する方法にシフトできるような対話の場所を設けています。日常の友人に話していいのか迷うようなことなども自分の体験を素直に差し出せる、アドバイスを求めない、そのような場所を提供できるよう心がけています。子育て中の外出は気を遣うことも多いと思いますが、つながりラウンジで開催することで、お子さんがにぎやかにしても大丈夫、親御さんもちょうとも日常の喧騒から離れることができるなどの良さもあります。

Q2.今回はじめて、すごろくを使った企画をやってみていかがでしたか？

A2.今回はじめて取り入れたすごろくは、認知症をテーマにしたものを参考にオリジナルで考えたものです。子育てのしんどいところって日常だと話しづらい場面も多く、たとえ話せたとしても、言葉にできないしんどさは常に付き纏います。すごろくを取り入れることでそれらを気軽に話せるきっかけになったのではないかと感じました。

まちいろドロップスでは、まちだづくり応援基金の助成金を活用した2つのイベントを含む4つの企画をまちカフェ！期間中に開催します。

- 11/30（土）11:00-12:30「聞いてみよう！からの声ときみの声～シアターゲームと対話のじかん」
- 12/3（火）午前「プレイフルカードを使った対話を楽しもう」
- 12/4（水）13:30-15:30（受付13:15～）まちいろてつがくカフェ「どうして地域活動をしたいのか？」
- 12/7（土）10:00-12:00「どうしたら「助けて」って言えるようになる？～対話を通して考えてみよう」

まちいろドロップス イベント情報

聞いてみよう！からの声ときみの声～シアターゲームと対話のじかん～

哲学対話ワークショップの活動をされているアダムス先生さんとのコラボイベントです！
お子さんの大歓迎！

日時	11月30日(土) 午前十時10時00分～12時00分
場所	町田市民文化学館 会議室
参加費	親子参加：1,000円/個人参加：500円
申込方法	お電話/お申し込みにて

プレイフルカードを使った対話を楽しもう

ゲストに阿部美穂さん、藤原心菜さん、公野心晴さん にご一緒していただき、ソクソクリーダーズボランティアワークショップ「カードを使って自分の強み、強みと向き合うワークショップ」を実施予定です。

日時	12月3日(火) 午前中（申込は不要です）
場所	町田市民文化学館（申込）
参加費	500円
申込方法	お電話/お申し込みにて

まちいろてつがくカフェ「どうして地域活動をしたいのか？」

「どうしてわたしは地域に関わろうとするのか？」対話しながら、いっしょに考えてみませんか？地域活動を考えてみる、身近な地域活動のアイデアを提案して参加してみませんか？お気軽にご参加ください。

日時	12月4日(水) 午後
場所	町田市民文化学館1Fホール
参加費	500円
申込方法	お電話/お申し込みにて

どうしたら「助けて」って言えるようになる？～対話を通して考えてみよう

ゲストに渡邊美咲さん（町田市民文化学館職員 自身もボランティアで、進行、司会/丸山マコト様、宗本様、橋本様、高橋様/中島様など）にご一緒していただき、お話しをしながら、参加者一同に学びます。

日時	12月7日(土) 午前中（申込は不要です）
場所	町田市民文化学館 第4 研修会議室
参加費	500円
申込方法	お電話/お申し込みにて

問い合わせ
まちいろドロップス：mdrops2020@gmail.com

まちいろドロップス
まちいろドロップス

facebookページ 登録済み

Q1. ワークショップなどの対話実践の活動を始めたきっかけは何ですか？

A1. 12年前にメンバーの一人に精神症状が出て、ケアのために当事者研究（北海道浦河町における「べてるの家」で生まれた自助ツール）、トライローグ（ミニホワイトボードを使った当事者研究の新形態）、オープンダイアログ（フィンランド発祥で患者と医療者、家族などの関係者も加わり、対話を行っていくもの）に取り組んできました。この手法を広げていきたいと思い、実際に精神障がいを抱えている人たちのケアのサポートをしていたらネットワークが広がり、本格的な対話実践の活動が始まりました。

Q2. 今後チャレンジしたいことはありますか？

A2. 1つは学生さんに休み期間中に講習を受けてもらい、学生さんたち自ら組織を作り、事業を動かしていてもらいたいです。もう1つは本当にお困りの方とつながるために訪問看護ステーションとの連携を目指しています。訪問看護も含めた多職種連携のための研修プログラムも構想中です。オープンダイアログで町田の福祉を改善するためのムーブメントを自分たちで起こしていきたいと考えています。

Q3. この活動をする上で大切にしていることは何ですか？

A3. やはり相手の話を聞く、コミュニケーションをとるといった「対話」を大切にしています。精神障がいを薬で治そうとすると薬の作用が強く、その人の個性を抑制することにつながることもあります。服薬ではなく対話を重要視することで7~8割の方が社会復帰や回復に成功しているというデータもあります。

like mindsでは、まちだづくり応援基金を活用した企画を含む2つの企画を開催されます。

- 11/30 15：30-19：30 「完全即興音楽で聴く力と発信力を育てる」ワークショップ
- 12/8 15：30~18：00 斎藤環氏（精神科医・ODNJP共同代表）、木原育子氏（朝日新聞記者）講演会「オープンダイアログは地域に何をもたらすか」

like minds **話す聴く感じる。ほきやすさを手に入れる**

オープンダイアログは地域に何をもちますか？

木原育子 独立新聞記者

12月8日 (日) 15:30分~18:00まで (受付は10分前)

会場 藤野 藤野青年会館地下ホール
 入場料 無料
 参加費 2,000円
 当日参加費 参加費2,000円からで
 支払いは当日現金にて
 参加費は申し込み時に
 お知らせいたします
 オープンダイアログは当事者
 生活改善支援の活動家と
 受けてくださいます
 申し込み・お問い合わせは
 info@mindz.jp & kenshi@mindz.jp
 044-989-3745 藤野まで

like minds **完全即興音楽を通じて聴く力と発信力を育てるワークショップ**

聴く力と発信力の大切さ
 (20分程度) 聴く力と発信力を育てる
 ワークショップ
 講師 さがゆき
 ゲスト 加藤環之

11月30日 (土)
 15:30分~19:30まで
 (受付は10分前)

会場 藤野 藤野青年会館地下ホール
 入場料 無料
 参加費 2,000円
 当日参加費 参加費2,000円からで
 支払いは当日現金にて
 参加費は申し込み時に
 お知らせいたします
 オープンダイアログは当事者
 生活改善支援の活動家と
 受けてくださいます
 申し込み・お問い合わせは
 info@mindz.jp & kenshi@mindz.jp
 044-989-3745 藤野まで



町田市地域活動 サポートオフィス

事務局 一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス
〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8
町田市民フォーラム4階
TEL : 042-785-4871 (FAX : 4872)